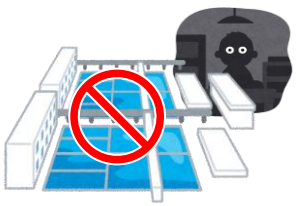
上下水道から見る 災害が起きたら

想像してみよう 災害に伴って起こること

地震・大雨・台風・寒波等の災害に伴って、上下水道施設には次のような事態の発生が想定されます。

停　電



水道施設・
ポンプの停止

土砂崩れ

水道管の
損傷・破損

寒　波

水道管の
凍結・破裂

浸　水

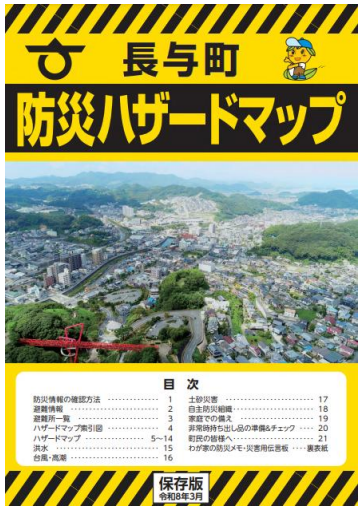
排水処理が
追いつかない

断　水

下水の逆流

確認してみよう 防災ハザードマップを活用しよう

長与町が発行している防災ハザードマップには、様々な避難情報が掲載されています。
土砂災害のおそれがある区域や、洪水や河川のはん濫によって浸水のおそれがある区域も掲載されていますので、まずはご自宅やその周辺から地域の特性を把握しておきましょう。

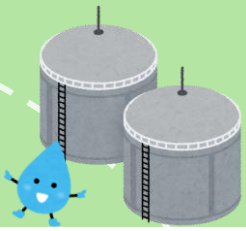


▶ 長与町防災ハザードマップ
冊子の他にＷＥＢ版があり、
スマートフォンでも利用可能

長与町水道局

災害が起きたら

水道局の活動編



断水が起きたら　拠点給水を行います

断水が起きると、その地区へ給水車で水を運んで来て、公共施設など場所を定めて拠点給水が行われます。水を入れる容器を日ごろから備えておきましょう。

助け合いましょう

水を運ぶ作業は、ご高齢の方や障害を持つ方にはとても大変です。非常時には地域で助け合いをお願いします。

管が破損したら　管の修繕に向かいます

水道局職員が現場を確認した後、地域の工事事業者と連携を取って、水道管の破損状況に合わせた修繕工事を行います。例えば仮設のバイパス管を設置するなど、少しでも早く給水することを最優先にして復旧作業に当たります。

▼長与町管工業協同組合の組織事業者（ご紹介）

事業者名	電話番号
㈱イワナガ	095-883-3392
㈲住吉設備	095-844-5364
㈱チョーカンファシリティ	095-883-2470
㈲長崎住宅設備	095-842-7020
㈱長与管工設備工業所	095-883-2580
滑石設備㈱	095-856-2512
星野管工設備㈱	095-856-1161
山口設備	095-883-1439

（五十音順）

大災害の時は　応急給水活動へ職員を派遣します

日本のどこかで大きな災害が起こり、広い地域で断水が起こった時は、各市町で協力し被災地を支援します。平成28年・令和８年の熊本地震や、令和６年の能登半島地震には、長与町水道局からも職員を派遣して応急給水活動を行いました。過去の経験を糧にして、有事の際の町内の活動でも生かしてまいります。

写真：令和８年熊本地震 応急給水活動

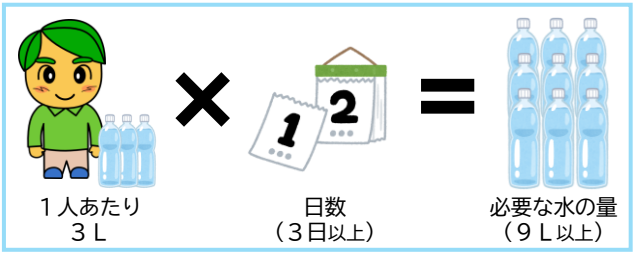
長与町水道局

災害が起きたら 家庭での備え編 その1

断水に備えて 水を備蓄しよう

災害による断水が起きた時、状況によって給水車がすぐに来られないこともあります。
非常時に備えて、ご家庭でも飲用水を備蓄することをおすすめします。

備蓄に必要な水の量は？

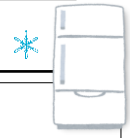


１人が１日に使う水の量を３Ｌとして、３～７日分が備蓄の目安です。最低の３日分でも**１人あたり９Ｌの備蓄が必要**と言われています。

水道水の保存期間を知ろう

水道水は塩素で消毒されていますが、時間が経つと塩素が抜けていき、細菌が繁殖しやすくなってしまいます。**保存期間に注意**して、飲用としては塩素が抜ける前に使用してください。

保存方法	飲用の目安
常温（冷暗所）	約3日
冷蔵	約7日



【注意事項】
- 水道水は温度が高くなると塩素の抜けが早まります。
- 沸騰させた水は塩素が抜けるため保存に向きません。
- 冷凍保存をする場合、保存温度や解凍方法などの条件が一定でないため、解凍後も塩素が十分に保たれているとは限りません。

長期の災害備蓄には、保存期限が把握しやすい市販水の活用も検討しましょう。

大雨に備えて 下水の逆流を防ごう

大雨等によって、家庭内でも下水の逆流が起こることがあります。

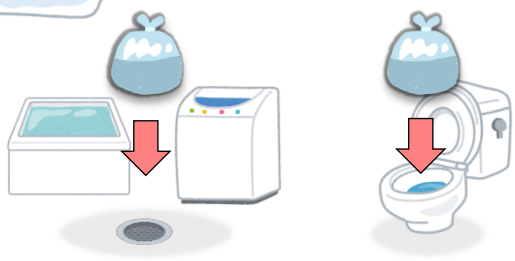
逆流する原因は？

排水能力を超える水が下水道管に流れ込むと、管内が満水になり、水が流れにくくなります。さらに水が流れ込むと、行き場を失った水が、ご家庭の排水口から逆流することがあります。
大雨の時に排水口から異音がしたり流れが悪くなった場合は、特に逆流に注意してください。

対策方法を知ろう

ご家庭では、「水のう」を蓋をするように排水口などの上に被せると効果的です。

水のうはビニール袋などに水を入れて簡単に作ることができますので、覚えておきましょう。



▲ 水のうは重ねて使うことでより効果が高まります

長与町水道局

災害が起きたら 家庭での備え編 その2

寒波に備えて

水道管の凍結対策をしよう

冬季は早めに凍結対策をしておきましょう。気温が氷点下になった時、特に町内放送やニュースで「低温注意報」が出たときは注意が必要です。

水道設備の点検をしよう

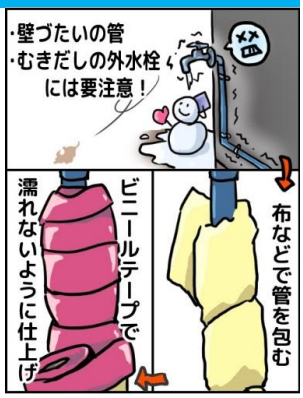
一般家庭には次のような水道設備がありますので点検してみましょう。**屋外、日の当たらない場所、風当りの強い場所**は特に注意しましょう。

水道メーター（ボックス）

蓋には「量水器」と書いてあります。空洞があると冷気が入り込むので、発泡スチロールや厚手の布きれなど保温性の高い材質で空洞を埋めましょう。

水道管

布や市販の保温材などで水道管を包み、ビニールテープやひもでしっかりと固定します。濡れると効果が下がるので、ビニールなどを上から被せます。



給湯器・温水器

製品の取扱説明書や製造メーカーへの問い合わせで対策方法を確認してください。Webサイトで案内しているメーカーもあります。

蛇口

蛇口から水を細く出し続けることはとても効果的です。水は動いていると凍りにくい性質になります。水道料金は掛かりますのでお風呂などに溜めて再利用しましょう。また、水道管と同様に屋外の蛇口を包んで保護しても効果があります。

凍結を解消したい

解凍したいところにタオルや布を被せ、その上からゆっくりぬるま湯をかけます。この時、**熱湯は絶対に使わないでください。**破損や漏水の原因となります。

水道管が破裂したら

水道メーターボックス内のハンドル止水栓を閉め、水を止めてから、指定給水装置工事事業者(※)へ修理を依頼してください。※指定給水装置工事事業者は水道局のWEBサイトや窓口で確認できます。